みずさわ 激動の今こそ新平の精神を
生誕160年記念後藤新平生誕祭

後藤新平生誕祭（後藤新平顕彰会主催）が６月４日、後藤伯記念公民館で開催されました。ことしは生誕160年の節目の年。市民や新平ゆかりの福島県須賀川市などから約350人が出席し、遺徳に思いをはせました。

式典では、顕彰活動や調査研究などに功績のあった４人１団体に感謝状を贈呈。山口了紀（りょうき）会長はあいさつで「自治三訣や人材の育成を唱えた新平の精神は、今も人々の中に生き続ける。会も新平の精神を支えにして顕彰活動を続けていく」と誓いました。

オープニングでは水沢小の５年生が「自治三訣」を唱和

わらべ歌やにらめっこなどで盛り上がる会場

まえさわ 笑顔あふれる楽しいひと時
園児と高齢者の「世代間交流会」

まえさわ介護センター（松戸千恵所長）で６月12日から14日までの３日間、世代間交流会が行われました。同施設利用者を元気付けようと前沢保育所と前沢保育園の園児が高齢者との交流を毎年行っているものです。

園児のお遊戯披露、園児と施設利用者の手遊び歌やにらめっこ、ボール送りなどで触れ合いました。利用者を代表して小野寺ヨシミさん（86）は「歌も踊りもとても上手。たくさん元気をもらいました」と園児たちに優しく語りかけました。

まえさわ 霜降り肉の炭火焼きに舌鼓
第33回前沢牛まつり

前沢牛まつり（同実行委員会主催）が６月４日、前沢いきいきスポーツランドで開催されました。時折雨が降る肌寒い日でしたが、大勢の家族連れや仲間グループなどが来場。牛の鳴きまねコンテスト、歌手市川由紀乃さんの歌謡ショーなど、ステージイベントを楽しみながら前沢牛を炭火焼きで味わいました。

千葉県鎌ケ谷市の阿部学さん（66）は「柔らかくておいしい。霜降り加減も最高。日帰りでも来たかいがありました」と祭りを満喫されていました。

焼き過ぎないようにと箸使いも慎重に

早乙女隊が昔ながらの田植えを再現

いさわ 体験から自然の大切さ学ぶ
内田ため池「田んぼの学校」田植え

「田んぼの学校」の田植えが６月４日、胆沢区若柳の内田ため池周辺で行われ、地元（イク）住民や小学生のほか、岩手大学ため池サークルike-icの女子学生扮する早乙女隊が参加しました。時折雨が降り、大人も子どもも雨や泥にまみれて、一緒になって手植えをしました。

田植（あうえ）えレースで子どもチームのアンカーを務めた高橋惟仁（ゆいと）君（胆沢愛宕小６年）は「みんなに見られて緊張した」と語りながらも、去年よりうまく植えられたと褒められると、ホッとした表情を見せました。

建設に関わった多くの人たちに感謝

小沢市長が用地提供者、設計業者、施工業者に感謝状を贈呈

胆沢中学校落成記念式典が６月24日、同校体育館で行われました。全校生徒のほか用地提供者、設計業者、施工業者などが出席。小沢昌記市長が建設事業に携わった関係者に感謝状を贈呈しました。

式典で関向正俊校長は「多くの方々の苦労と努力、情熱と思いがあって出来上がったことを胸に刻み、この輝きを後輩たちに受け継いでほしい」と挨拶し、生徒代表の千田慎悟君（３年）は「感謝の気持ちを持ち、最初の生徒としてふさわしい生活をしていきたい」と誓いました。

食の黄金文化・奥州を民間企業も応援

インターネットで１万５千回再生を達成した動画「走馬灯料理篇」も視聴できます

市は６月16日、東北銀行水沢支店（坂井勝弘支店長）に協力いただき、同支店内に地域６次産業化事業「食の黄金文化・奥州」を紹介するブースを設置しました。

のぼりが目印の専用ブースでは、チラシ・お土産パンフレットの配布、プロモーション動画の放映のほか、この日から始まった「食の黄金店スタンプラリー」もPR。坂井支店長は「行員全員が名刺にロゴマークを付け、ピンバッチを着用した。地域貢献につながれば」と市の取り組みを応援しました。

えさし 地域の資源がお宝そのもの
地域の宝さがし

地域資源を再発見し、そのアイデアを地域の計画や行政への提案に活用していくことを目的に、「地域の宝さがし」（岩谷堂地区振興会主催）が６月10日、歴史公園えさし藤原の郷周辺で行われました。あいにくの雨の中参加者は、見慣れた景色に隠れた地域を掘り起こすヒントを巡り歩きました。

同振興会廣野雅喜会長（73）は「思わぬ気付きが人口増をもたらすことも。知恵を出し合い、住んで良かったと思えるまちづくりを目指したい」と抱負を語りました。

存在感を放つ「ふくろうの木」。ドラマ利家とまつの印象的なシーンを思い出す

真剣な表情でオスとメスの見分け方を教わる子どもたち

こうもがわ 飼育を通じて命の尊さ学ぶ
国見平温泉カブトムシ幼虫飼育講座

カブトムシ幼虫飼育講座が６月10日、国見平温泉で開かれました。同職員の千田清吉さんが講師を務め、９組20人の参加者に幼虫の触り方や育て方のポイントなどを説明しました。土を入れた虫かごに、オスとメスの幼虫を１匹ずつもらった子どもたちは、幼虫の動きに興味津々の様子。幼虫は各家庭で育てられ、夏には相撲大会が開かれる予定です。

友達３人と参加した佐々木優心（ゆうしん）君（真城小３年）は「大きくなるのが楽しみ」と笑顔で話しました。